

## 笠間陶芸体験を楽しむ

関東支部長 馬場泰則

五月十七日（土）、暖かい五月の風が心地よく感じる中、水戸線友部駅九時五十分集合。今日は関東支部の平成二十年度活動行事「笠間陶芸体験と笠間稲荷神社参拝コース」に六名が参加者して、かさま観光周遊バスで先ず“自然とやすらぎの空間「笠間工芸の丘」”へ向かいました。

近づくにつれ、ギャラリーロードの両側には陶芸店、陶工房が軒を並べており、やきもの散歩も楽しいだろうと、バスの車窓から感じました。

到着後、「ふれあい工房」に入り、インストラクター指導のもとに、早速、手ひねり体験を始めました。土に親しみ、創造と発見が出来たら良いなと思いながら、一キログラムの粘土を使って、参加者それぞれ希望の作品づくりに取り組みました。

私はビールジョッキ、他の皆さんは皿、花瓶、湯呑など好き好きの作品を目指して、楽しみながら約一時間半奮闘しました。

一色塗りですが、十色の中から好みの色を選んで指定しておく、三週間後に焼きあがるという算段です。

作品を取りに行くのが楽しみです。工房は家族連れや若いサークルなどで賑わっていました。

工房を後にして、次の目的地、佐白山つつじ公園に向かいました。一週間前までは全山つつじが満開状態とのことでしたが、残念ながら終わりに近く、わずかに花を見る程度でした。しかし、山頂からの眺望はすばらしい景色でした。

下山後昼食をとり、最終目的地の笠間稲荷神社参拝へと出発しました。境内の藤の花を期待していたのですが、これも咲き終わっていました。

それぞれの思いの中で神社参拝を済ませ、帰路につきました。

楽しい一日を過ごすことができました。

参加者（敬称略）左から

大久保清作・関口誠三・久家俊夫・倉持定雄

馬場泰則・大久保雅弘

